

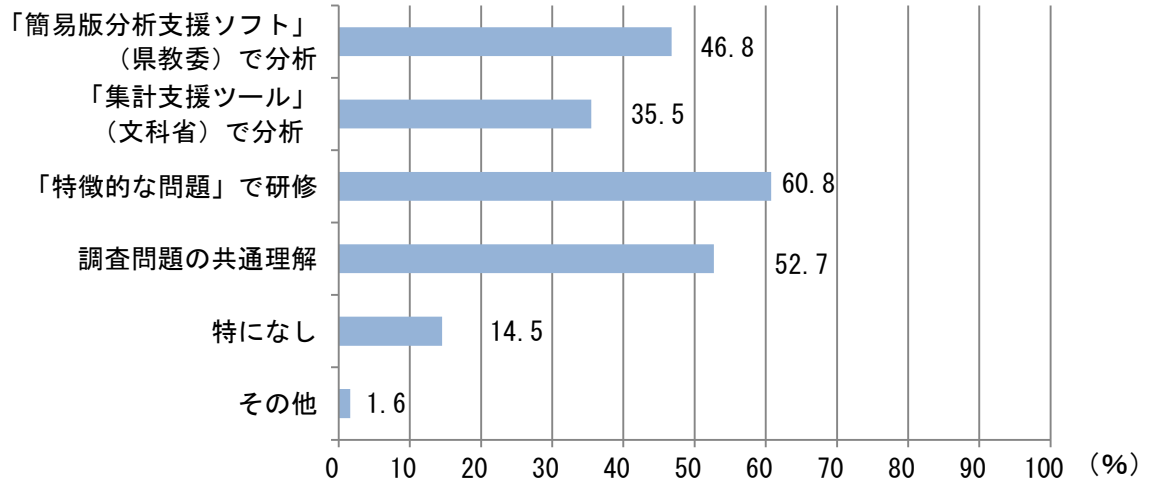
# 平成 30 年度 授業改善モニターアンケートの結果

平成 30 年 11 月実施

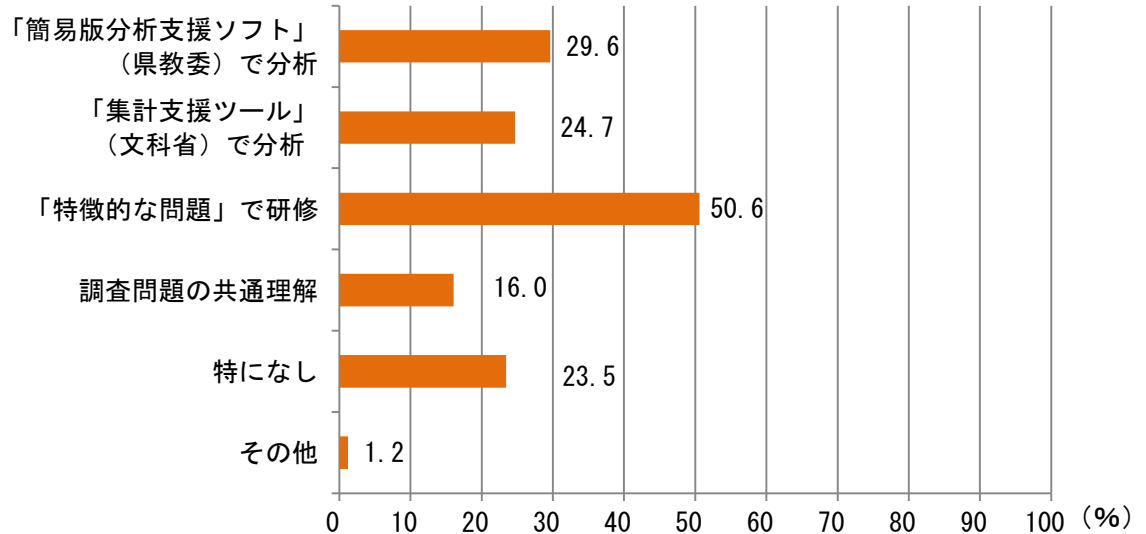
今回のアンケートでは、全国学力・学習状況調査の活用状況、及び富山県教育委員会から配布、配信している冊子やソフト、問題集等の活用状況について尋ねました。

## 1 全国学力・学習状況調査実施から、7月下旬に結果が公表されるまでの間に実施した取組について

### 小学校



### 中学校

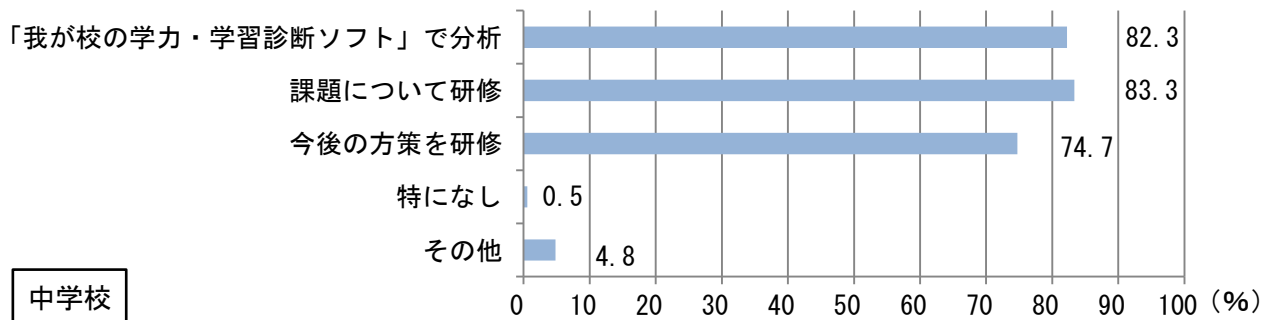


### 【取組例】

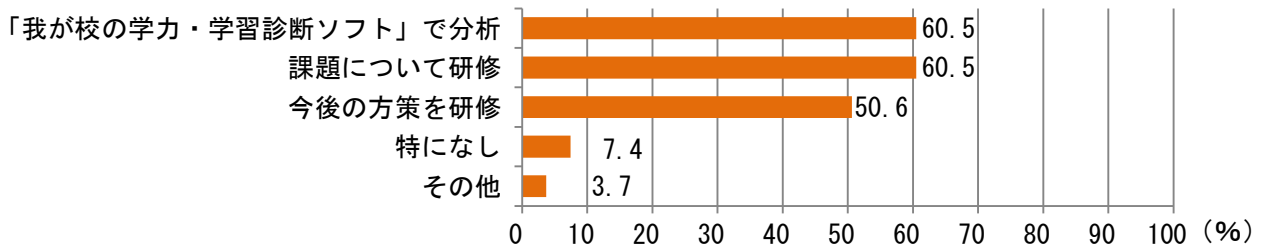
- ・ 1学期に自校採点し、子供の学力の傾向をみて、日々の授業改善や学力向上の取組に生かすようにした。
- ・ 「簡易版分析支援ソフト」を活用することによって、文部科学省の結果公表よりも早く自校の実態を把握・分析し、学力向上に向けた方策を話し合った。
- ・ 校内研修において、全教員で「特徴的な問題」を解き、どの学年の学習内容か、どのような力を育成しないといけないかについて共通理解し、授業改善の方策について話し合った。
- ・ 調査問題を全教職員で解き、学習指導上の留意点やつまづきやすいポイントについて共通理解を図った。児童の実態と照らし合わせ、身に付けさせたい力や指導のポイントについて話し合った。

## 2 7月下旬に送付された全国学力・学習状況調査の自校の結果の活用について

### 小学校



### 中学校



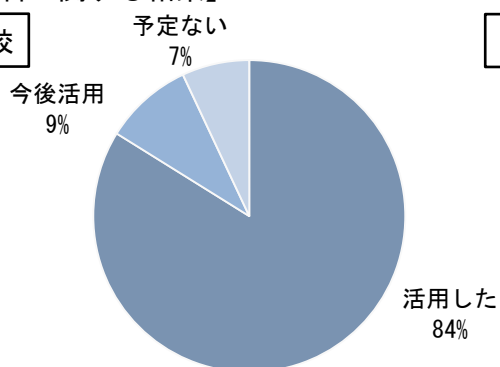
### 【取組例】

- ・ 正答率の低い設問について、どのような誤答が多いかを確認、どのような指導が必要かについて話し合った。
- ・ 誤答の多い設問について児童の思考の流れやつまずきの原因を探り、低学年からどのような力を付けていくかについて話し合った。
- ・ 調査結果を受け、課題がみられた子供には、朝活動や放課後等に個別指導をした。
- ・ 表現力に課題がみられたので、毎週水曜日に短作文学習を継続する方針を決め、各学年に応じた題材を工夫し、自分の考えを表現できるように指導した。
- ・ 小中合同研修会の際に分析結果を持ち寄り、情報を共有した。

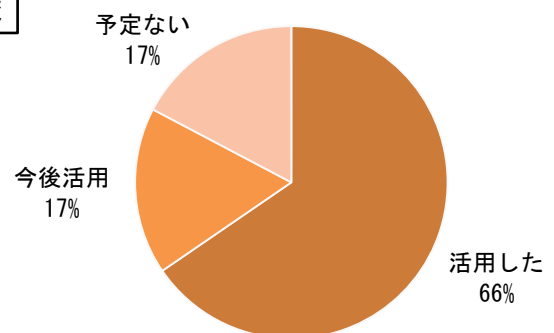
## 3 「我が校の学力・学習診断ソフト」について

### (1) 【教科に関する結果】について

#### 小学校



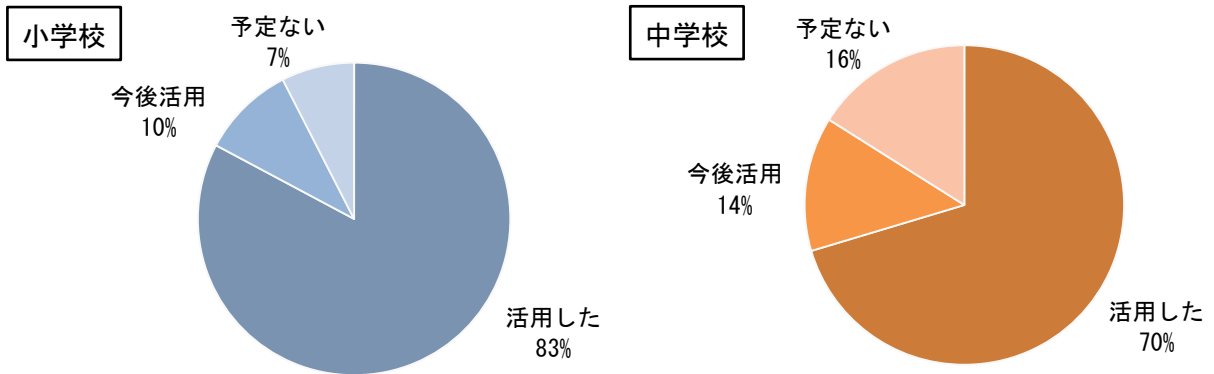
#### 中学校



### 【活用例】

- ・ 平均値との差が分かりやすいグラフを活用して、課題や改善のポイントを吹き出しで付け加えた資料を作成し、それを基に解答状況と照らし合わせながら、改善策について研修会で話し合った。
- ・ 正答率が低い設問や県平均との差が大きい設問について、解答類型等を示しながら、児童の課題と対策について分析し、全教員で共通理解を図った。また、6年生保護者に対して説明会を実施し、児童の現状と課題、今後の方策について説明した。
- ・ 本校独自のアンケート（学校評価アンケート、家庭学習時間調査アンケート等）と関連させて分析した。

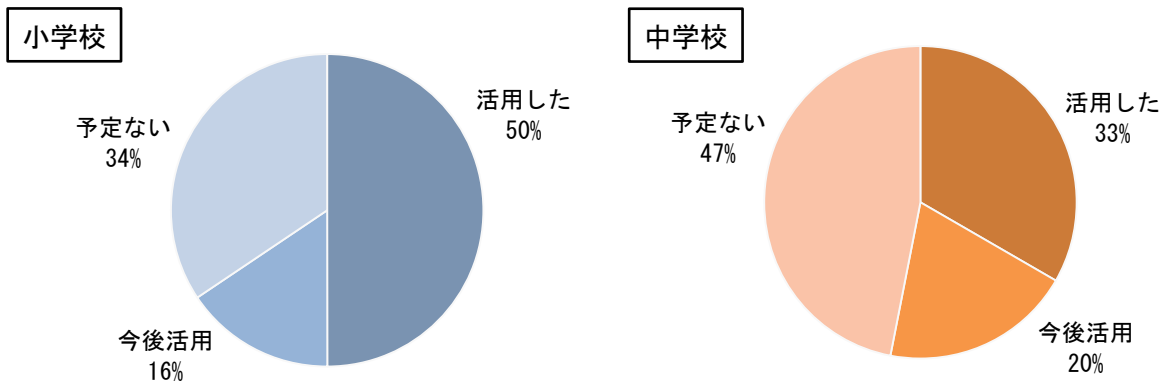
(2) 【児童生徒質問紙に関する結果】について



【活用例】

- ・「学習したことが普段の生活の中で活用できるか」「将来社会に出たときに役に立つと思うか」などの質問に肯定的な回答が少ないことから、学ぶ意義を明確にし、主体的に学ぶことができるよう、生活や社会に結び付いた単元構想や課題設定、体験や学び合い等を工夫し、学んだことを活用する場を設けることを共通理解した。
- ・家庭学習習慣や基本的な生活習慣に関して課題のある項目を確認し、方策を考えた。また、学校評議員会の話題に取り上げたり、データを基にした資料を学校だよりに掲載したりして、家庭とともに取り組んでいくことを伝えた。
- ・校内研修会で、調査結果からみえる児童のよさを伝え、目指す児童の姿を全教員で共通理解した。そして、生活習慣や家庭学習における課題を見付けて指導の見直しを図るよう働きかけた。保護者にも大まかな傾向を伝え、家庭との連携を図った。

(3) 【A「知識」とB「活用」の相関図】について

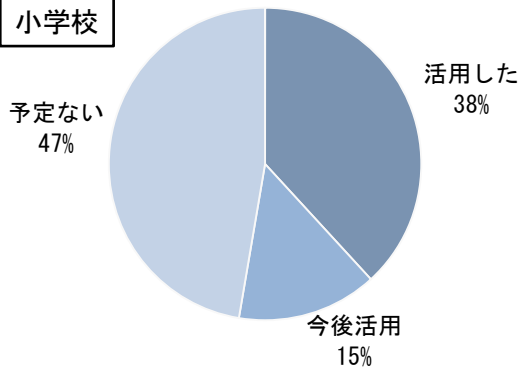


【活用例】

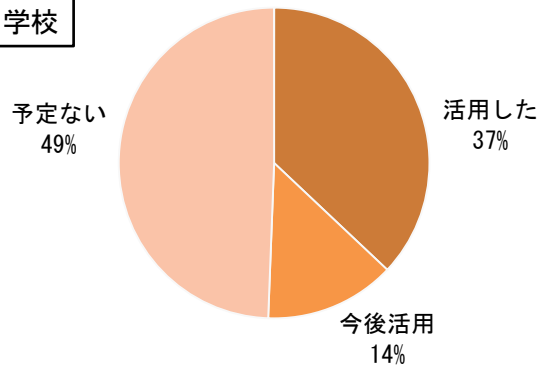
- ・「知識」「活用」とともに低い児童、「知識」は高いが「活用」が低い児童、「活用」は高いが「知識」が低い児童等、個別指導を要する児童を把握し、指導に生かした。
- ・「知識」は高いが、「活用」が平均以下の生徒がみられたので、単元の終わりに発展的な実験を取り入れた。
- ・身に付けた知識や技能を活用する力がやや不足しているため、生徒が学んだことを主体的に活用し、自ら学習を進められるよう、学びへの関心・意欲を高める授業展開や学習課題づくりを工夫した。

(4) 【平均正答率の推移】について

小学校



中学校

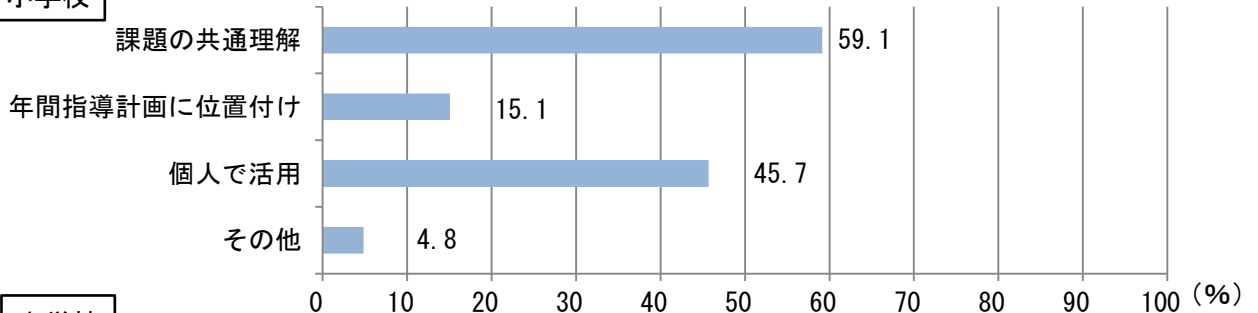


【活用例】

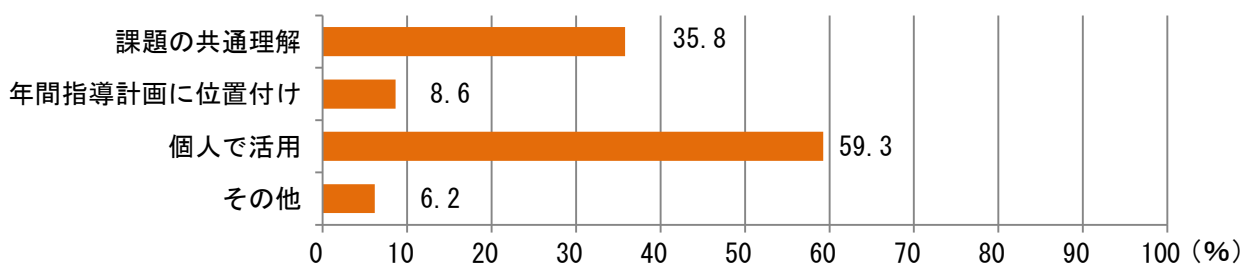
- ・5年間の得点推移を基に、課題となっている項目を明らかにし、全校で重点的に取り組む方策を立てた。
- ・過去の平均正答率と比較し、児童の苦手な教科、伸びている教科の傾向や今年度の6年生の傾向をつかみ、指導改善に役立てた。
- ・自校の学力の推移を基に、全教科で共通した学力向上への取組について、校内研修会で共通理解を図った。

4 「平成30年度 対策のヒント」の活用について

小学校



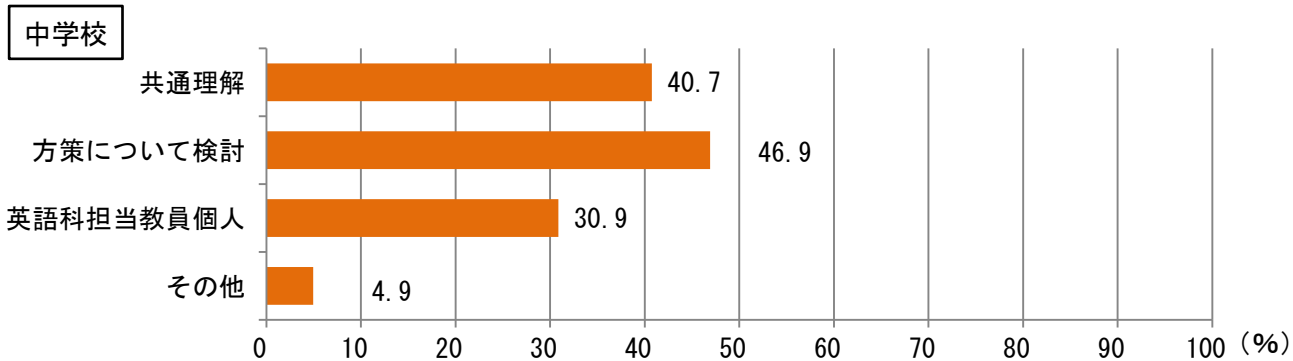
中学校



【活用例】

- ・「対策のヒント」の事例の中から、学級の実態に合うものを選択し、2～3学期の学習に位置付けて実践している。
- ・特にできていなかった問題については、教科書の単元と関連付けて授業で取り入れた。

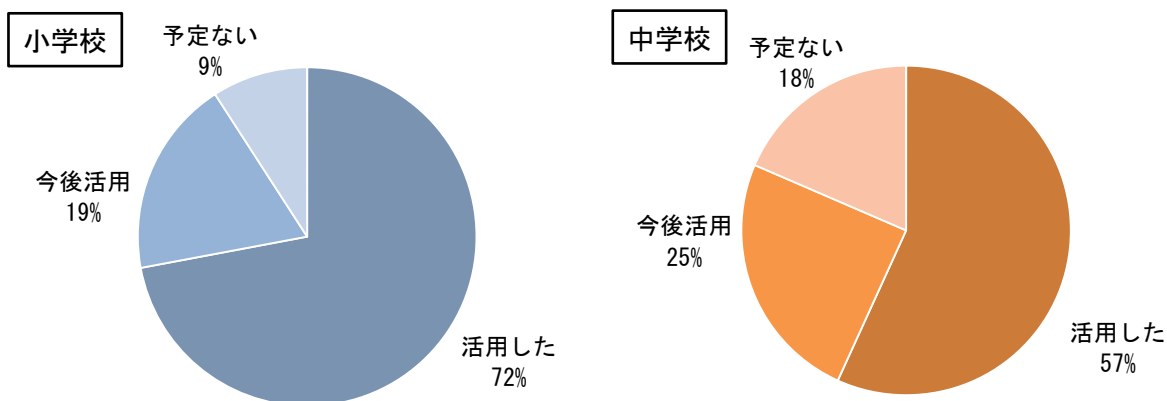
## 5 「平成 30 年度 英語予備調査 特徴的な問題」の活用について



### 【活用例】

- ・小中連携研修会において、「平成 30 年度 英語予備調査 特徴的な問題」の資料を活用して小・中学校の系統性を踏まえた指導の在り方について共通理解を図った。
- ・授業で「平成 30 年度 英語予備調査 特徴的な問題」を活用して到達度を確認し、今後の学習の手立てを考える参考にした。

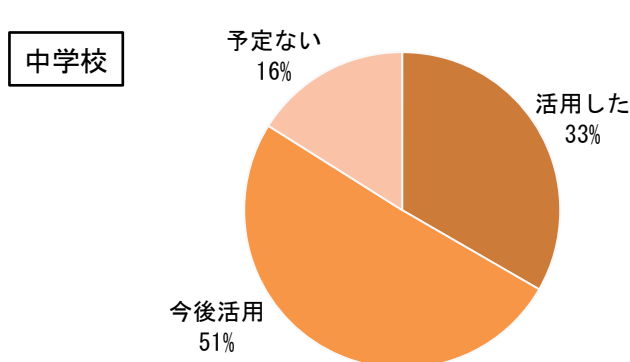
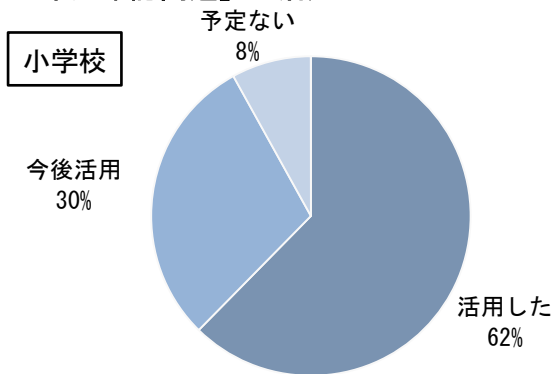
## 6 「平成 30 年度 全国学力・学習状況調査報告書(富山県版)」の活用について



### 【活用例】

- ・「Ⅲ 教科に関する調査結果の分析」「Ⅳ 児童・生徒質問紙調査結果の概要と分析」を印刷して配布し、共通理解を図った。Ⅲについては、自校の誤答の傾向から児童がつまづきやすい点を把握し、「学習指導上の留意点」「指導のポイント」に書かれている活動を授業に取り入れた。
- ・「Ⅵ 調査結果の考察 2 調査結果からみえてきた課題と改善のポイント」を、次年度の研修内容や重点事項を設定する際の参考にした。
- ・自校の結果を見直して「改善のポイント」を生かして授業改善に取り組んだ。
- ・「我が校の実態に基づく授業改善に向けた取組例」を職員室の研修コーナーに掲示し、「単元確認問題」や「設問別ワークシート」の活用方法を全教職員に分かりやすく示した。

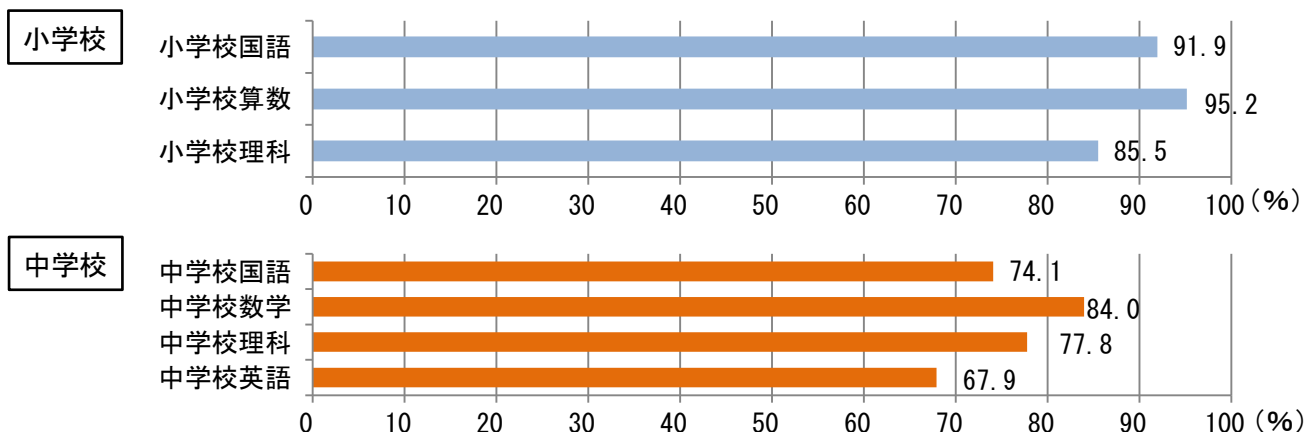
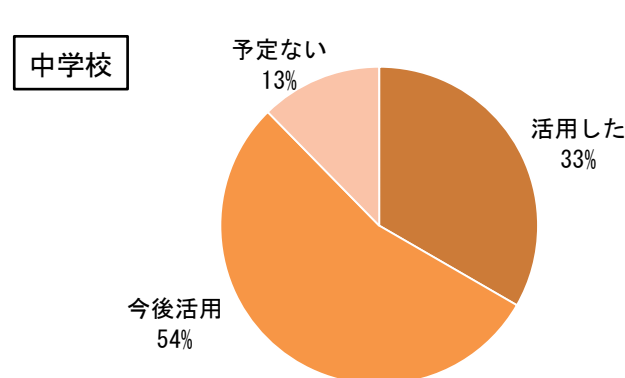
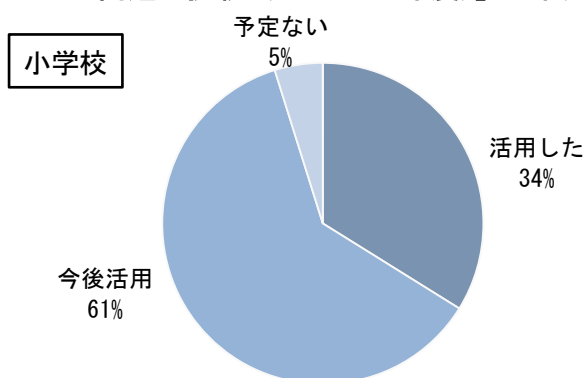
## 7 「単元確認問題」の活用について



### 【活用例】

- ・学習内容を復習するために適切な設問なので、家庭学習の課題として活用している。
- ・全ページをダウンロードし、各学年の裁量で家庭学習として取り組んだり、単元のまとめの問題として活用したりするなど、基礎的・基本的な学力の向上に役立てている。
- ・ライブラリー化してコーナーを設置し、単元終了時に活用した。
- ・放課後を利用し、学力に応じて自由に選択して取り組める教室を設けた。

## 8 「B問題に挑戦（H26～H30年度）」の活用について

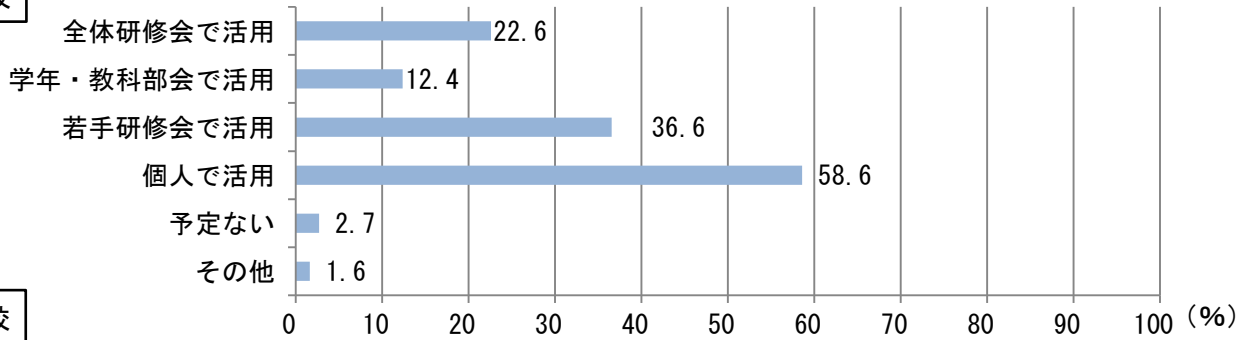


### 【活用例】

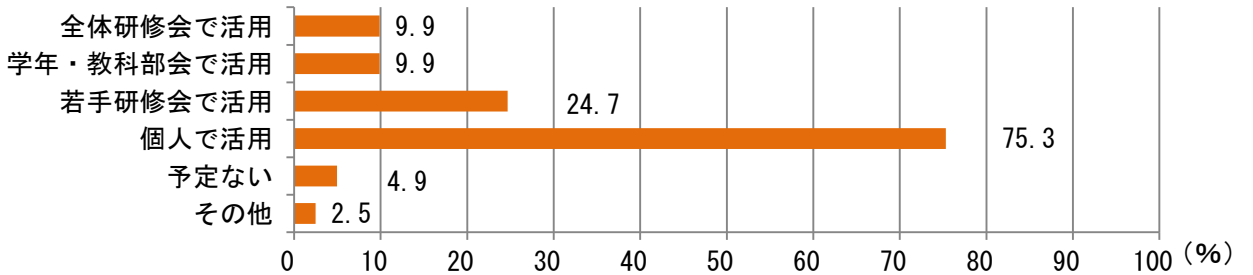
- ・グループやペアで、B問題を解いたり説明し合ったりする活動を取り入れた。
- ・発展的な課題として活用している。一人で考えた後に班で学び合い、「主体的・対話的で深い学び」につなげていきたい。
- ・設問を参考に、日々の授業での発問の改善や工夫につなげたり、解答の仕方を参考に、ノートのとまとめ方や発表の仕方に役立てさせたりしている。
- ・モジュールの時間に1題ずつ解くことで活用する力の向上を図った。
- ・すぐ活用できるように教科別にファイリングし、印刷したプリントを棚に整理した。

## 9 『授業の達人』授業DVD』の活用について

小学校



中学校

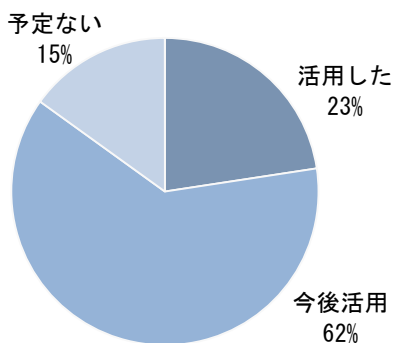


### 【活用例】

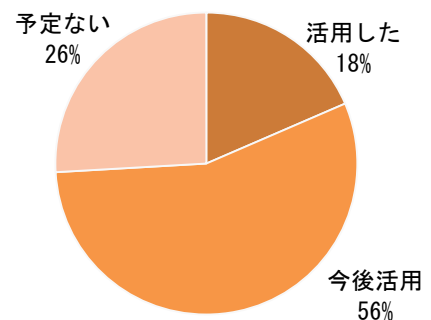
- ・若手教員が研究授業を行う際にDVDを視聴し、発問や切り返しの仕方、板書の工夫、授業の進め方等を参考にした。
- ・若手教員が自分の授業に生かしていこうと授業の進め方（どのように授業を組み立てればよいか、子供の発言をどのようにつなげていけばよいかなど）を参考にしている。
- ・何度も見たり、途中で止めて繰り返し見たりできるので、授業の流れを理解するために効果的である。

## 10 「全国学力・学習状況調査 設問別ワークシート」(H25～H30 調査問題分)の活用について

小学校



中学校



### 【活用例】

- ・6年生では、誤答が多かった問題に再度取り組ませた。子供自身が、どこが間違っていたのかを見直すことができ、学力調査の結果を生かすために有効であった。また、5年生には3学期に復習として活用する予定である。
- ・文章の中から必要なことを読み取り、考えをまとめる力、筋道を立てて考えたり自分の考えを分かりやすく表現したりする力を高めるために活用した。
- ・課題がみられた問題をダウンロードして活用できるので、効果的である。印刷しておき、朝活動や自主学習等ですぐに活用できるようにしている。